

2010年度

科目名	教育実習指導(社会)		
担当教員	宇野 佳子、松田 智弘		
配当	文財4	コード	80461
開期	集中通年	講時	集中0限
		単位数	1
授業テーマ	中学校の社会科実習の意義理解と教職への一体感について		
目的と概要	教育実習は大学における教育職員養成課程の基礎として、中学校の教育現場に臨み、直接的・体験的に実施する課業である。本講座では教育実習を事前・実施・事後のまとまりに位置づけ、教員を志すものとして自らの生き方と重ね合わせ、その資質能力を高めるとともに教職への一体感を培う。 実習生としての心得と社会科の学習指導要領を確認して、授業に備える。そして、実習校での指導者による、授業内容及び授業方法の指導に従った授業展開ができるよう、各自の心づもりを指導する。		
成績評価法	(1) 授業後のレポート(50%) (2)教育実習終了報告書・実習校評価(30%) (3)授業態度(20%)などを参考に総合的に判断します。		
テキスト	適宜、資料配布		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	(1)授業の開講日に注意 (2)教育実習の手続きを確実に (3)「実習後報告書」の提出 (4)授業は2名の教員で実施		
講義計画			
第1回	教職課程・教育実習の意義を理解する。		
第2回	実地研究の観点や学習指導の心得等々について理解を深める。		
第3回	実地研究の観点や生徒指導について理解を深める。		
第4回	実習手続きの指導(教務課)		
第5回	実習直前のまとめ		
第6回	人権教育の課題と指導のあり方について理解を深める。		
第7回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法		
第8回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法		
第9回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法		
第10回	中学校社会科学習指導要領の確認及び指導法		
<教育実習>			
* 実習校への挨拶・打ち合わせ訪問(各自) ※後期実習生は一ヶ月前			
* 中学校の教育実習(専任教員による訪問指導)			
* 実習終了報告書の提出			
第11回	実地研究のまとめ・発表と講評指導。 実習後の感想と教師になろうと思うかについてレポートを書いて提出。		